

令和8年9月号

さいたま支部通信

宇宙時代の地球人を育てる



日本宇宙少年団

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町 682 番地 2 JACK 大宮 TEL:048-647-0011 FAX:048-647-0066
さいたま市宇宙劇場内事務局 (星・岩浪・椎原・亀山) <https://www.ucyugekijo.jp/>

【9月の活動予定】

宇宙のまち さいたま「夢・探究心・思いやり」

活動日	場所・時刻	活動内容等
9月13日(日)	宇宙劇場5階 第1・2集会室 ①9:30~ ②11:00~ ③13:30~ ④15:00~ 定員:各回15名	○科学観察「顕微鏡でミクロの世界を見てみよう!」オルフェス分団活動 ・肉眼ではよく見えないけど…たしかにそこにある!それはミクロの世界。顕微鏡をつかって色々なミクロの世界を体験してみましよう。 顕微鏡という精密な機械を扱うため、小4までは親子で参加することを推奨します。せっかくなので親子で楽しく顕微鏡で観察しましょう! ※親子参加の場合は、親子で1台の顕微鏡を使用します。 ※最後に感想を発表してもらいます。保護者の方も是非発表してください。 ※申し込み締め切り: 9/6(日)まで
9月26日(土)	宇宙劇場5階 第1・2集会室 17:45~	○天体観望会「土星と満月に近い月」シリウス分団活動 ・東の空には、満月に近い月(月齢15.2)が昇り始めています。さらに時間が経つと土星が昇ってきます。天頂近くには、夏の大三角(はくちょう座のデネブ、こと座のベガ、わし座のアルタイル)が輝き、まだまだ楽しめます。西の空には、うしかい座のアークトゥルスが輝いています。 ※申し込み締め切り: 9/21(月)まで

9月の活動
申し込みは
こちらから



<https://forms.gle/WSFj9GK7ZiRTM8uK7>

☆コジマ子どもサイエンスパーク見学

【 7/29 】 41名参加



☆化石のレプリカをつくろう(科学工作)

【 8/1 】 55名参加



☆高学年プログラミング

【 8/22 】 28名参加



中村分団長の
特ダネ



飛行機の起源は「植物」だった！

もし、飛行機が発明されるためのモデルがあったとしたら何だと思いますか？その正体は、鳥でも昆虫でもなく、「アルソミトラ」という植物の種子だったので。アルソミトラの種子には、紙飛行機の翼のような薄い羽がついていて、高い木から落ちると、くるくる回らずにグライダーのように風をとらえながら遠くまで滑空していきます。その飛び方はとても安定していて、30mは飛んでいけると言われています。20世紀初頭、ライト兄弟が世界初の有人動力飛行に成功したのと同時期、エトリッヒという親子は、アルソミトラの種子にヒントを得て、生物の飛行をモデルにしたアルソミトラ型飛行機を考えだしました。この飛行機に尾翼をつけたものが、のちの飛行機の基礎になったのです。

このように、今当たり前のようにある科学技術は自然の中にあるものがヒントとなって発明されていきました。自然には未来の発明につながる知恵がたくさん隠されているのです。皆さんも自然から新しい発明を見つけ出していきましょう！



写真：
ウィキペディアより

☆9月の星空カレンダー

4日 下弦
11日 新月
12日 宇宙の日(※)
19日 上弦 金星最大光度
25日 中秋の名月
26日 海王星衝
27日 満月

(※) 1992年は、世界中が協力して宇宙や地球環境について考えようという年、国際宇宙年 (ISY) でした。「宇宙の日」はこれを記念して制定され、一般の方々からの公募により、毛利宇宙飛行士が日本人で初めてスペースシャトルで宇宙へ飛び立った日である9月12日となりました。

○9月のできごと

・2023. 9. 7
H-IIA ロケット47号機でX線分光撮像衛星「XRISM」と小型月着陸実証機 (SLIM) を打ち上げ

○10月の活動予定 まだ申し込みはできません。

3日(土) 水ロケットづくり 午後
11日(日) 水ロケット試射会 9:20
17日(土) 天体観望合宿説明会 15:00
18日(日) 水ロケット予備日 9:20
31日(土)～11月1日(日) 天体観望合宿

○第2回運営会議のお知らせ

・日時 9月6日(日) 10:00
・場所 宇宙劇場 研修室
※関係者の方は、ご出席ください。

特別放映+星をみる会

『望遠鏡で月をみよう！』

9/19(土) 18:00～(受付終了 17:55)

●●○○○○●●

特別放映をプラネタリウムで鑑賞した後、望遠鏡を使って実際に天体観望を行います。定員 100 名。

★9月★
宇宙劇場
のご案内